

# 燃える秋

小林正樹監督作品/原作 五木寛之 <角川書店版>

女には愛や結婚よりも  
もっと大切なものがあるはずです

## GLOWING AUTUMN



配給 ■ 東宝株式会社

協力 ■ 東宝映画

音楽 ■ 武満 徹

撮影 ■ 岡崎 宏三

脚色 ■ 稲垣 俊

■ 安武 龍

■ 佐藤 正之

製作 ■ 藤本 真澄

企画 ■ 岡田 茂 (三越)

三越・東宝提携作品



佐分利 信

小川 真由美

(特別出演)  
三田 佳子

井川 比佐志

アーマッド モアフィー

上条 恒彦

芦田 伸介

北大路 欣也

真野 響子

12月23日(土)

特別ロードショー

お得な前売券発売中! ¥1000(当日 ¥1300の処)

ヒビヤ スカラ座  
TEL 591 (5355)

小林正樹監督作品/原作 五木寛之

# 燃える秋



## ■スタッフ

企画・岡田茂(三越)  
製作・藤本真澄・佐藤正之・安武龍  
原作・五木寛之(角川書店版)  
脚色・稲垣俊  
監督・小林正樹  
撮影・岡崎宏三  
音楽・武満徹  
三越・東宝提携作品  
協力・株式会社東宝映画  
配給・東宝株式会社  
主題歌・ハイ・ファイ・セット  
(発売・エキスプレス・レコード)

## ■キャスト

桐生亜希・真野響子  
影山良造・佐分利信  
岸田 守・北大路欣也  
夏沢揺子・小川真由美  
その愛人・裕・上条恒彦  
サングラスの女・三田佳子  
内村教授・芦田伸介  
木島・井川比佐志  
エスラミ・アーマッド・モアフィー

## ■ものがたり

桐生亜希は疲れていた。影山良造という初老の男に捉えられて、もう二年になる。影山は亜希を拐い、なぶるように楽しんだ。夏沢揺子のすすめもあって、亜希が祇園祭の京都へ旅したのは、そんな関係を断とうとする何回目かの試みだった。

宵山の雑踏の中で、亜希は「山の洞」にかけられたベルシャ絨毯を喰い入るように見つめている青年に惹かれた。

岸田守と名乗るその青年は名古屋の商社員だと云った。ベルシャ絨毯を語る時、岸田の目は輝きを増す。たしかにベルシャ絨毯には人を魅するものがある。岸田に誘われた絨毯展で亜希は何度か息を呑んだ。

雨が降っていた。かつて影山との関係を断とうと自殺を計った夜と同じ雨が降っていた。電話が鳴った。「来たまえ」亜希の体をなぞるように影山の声が絡みつく。「レインコートだけで、下は何も着けずに……」心で拒みながら、亜希の目は壁のコートに釘づけになっていた。亜希は必死に名古屋のダイヤルを回した。「すぐ来てほしいの」という短い電話に岸田は雨の東名高速を突っ走った。

影山はどこが初めとも終りともつかぬやり方で亜希の体をじらしたが、岸田ははっきりと区切りのある愛し方で何度も亜希を抱いた。亜希は岸田を愛してはじめていたが、岸田の求婚は断っていた。愛しているというだけで男と女が結婚していいものだろうか。岸田は好ましいが、考え方に微妙なズレを感じることがある。それに影



山との関係が切れたわけではなかった。絨毯の逸品を見に来ないかと誘われて、カーペットの青に裸身を染めたこともあった。そして、影山が癌に侵されたこと知ったとき、すすんで抱かれに行つた。

影山が遺した航空券で亜希はイランへ旅立った。亜希はベルシャ文化に圧倒された。数十年をかけて織られた一枚の絨毯の前では、体にしみついた濃い性のアラベスクもみるみる色あせる感じすらした。

亜希は高熱で倒れた。意識をとり戻したとき岸田の顔があった。すべてを投げ出して日本から飛んで来たと言う。亜希は素直に感動した。

月光をあびて広がる深海のような絨毯の上で、裸の亜希は甘美なめまいに喘ぎ続け、岸田の求婚にやさしくうなずいた。

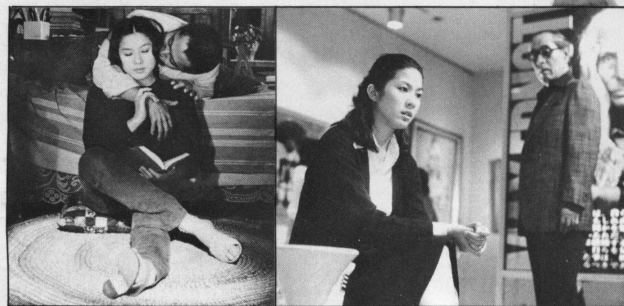
東京へ帰る空港への車の中で、亜希は岸田のアタッシュケースにぎつしりと詰められた絨毯のカラー・スライドを見た。岸田は機械織りの絨毯を大量に作らせるのだと云った。亜希はなぜか悲しかった。荒涼たる風土の中で作られた第二の自然ともいえる絨毯を岸田は盗もうとしている。岸田が云うように、ベルシャ絨毯はたしかに高価だ。何年もかかって織り上げた貧しい人々の手には入らないという岸田の屈辱も権階級だけのものではない。美しいデザイْنもわからないではない。しかし、どこが違う。愛し合つてさえないれば意見が違う二人でも一緒に暮らせるという岸田の主張も違うと思う。女には愛と幸福さえあればいいのだとは思えない。もっと大切なものが必ずあるはずだ。

亜希は空港へ着いたら岸田と別れようと思つた。依怙地な女だとは思つたが、愛というオアシスに立ち止まらずに、独りでどこまでも歩いていこうと決心していた。

## ■かいせつ

「燃える秋」は野性時代に連載された五木寛之の小説を映画化したものです。かねてから映画製作に強い関心を持っていた三越が、原作の連載中に映画化を企画し、東宝と共同製作することになりました。

物語はベルシャ絨毯に心惹かれた一人の女性を追って日本からイランへ。シルクロードの原点といわれる幻想の国で、彼女は一枚の絨毯に織り込まれた五千年の文化の歴史を知り、愛や幸せよりも、もっと大切なはずの何かを求めて歩きつづける決心をします。



GLOWING AUTUMN